

新磐田レポート

発行:磐田市議会会派「新磐田」 〒438-0077 磐田市国府台3-1
Tel.0538-37-4938 Fax.0538-37-4845 (議会事務局)
E-mail shiniwata-kktmtty@sala2.dti.no.jp

平成24年
春号
2012 Vol.1



共同開発を視察

平成23年度も残すところわずかになりました。いよいよ24年度、今任期の最終年度に入ります。新年度も「行動する新磐田」として、磐田市のために全力を尽くします！
代表 松野正比呂



災害時、相互応援協定を結んだ玉野市宇野港

23年度 会派「新磐田」議会報告会を開催

平成23年11月5日から12日の期間、会派の議会報告会を市内6会場で開催しました。その内容について、会場ごとに主なご意見、提起をまとめてみました。



豊岡地区

震災での仮設住宅用地や避難所の確保の他に、豊岡総合センターや南北道路の整備、またヘリポートの建設、市外局番の変更に関する意見がありました。

見付地区

災害時のボランティアの育成、道路路肩の狭小とともに自転車走行レーンの設置やJR新駅とジュビロ客室との関連等について発言がありました。

糠田地区

安全な遊戯場所の確保や高台の設置等発言の多くが津波や原発に関するもので、その他には大学の誘致や同報無線の難聴解消等の意見もありました。

中泉地区

台風等災害時での市の課題や情報を得る手段、海抜表示、天平のまちの学習室や小中学生の学習の場づくりを望む声がありました。

豊田地区

タクシー券の支給基準やジュビロ応援観戦の高齢者への拡大や、卸販路の耐震補強工事早期完了、救急車の新型車両買換え等の要請がありました。

電洋地区

地産産業の振興、地産地消の推進、災害時での対応と市民の自主性主体性の必要性、津波対策に対する市の考え方等について意見が寄せられました。

会派「新磐田」は、地域で上がった意見、声の実現に努力していきます。

代表質問

11月定例会

12月1日(木) 会派代表の松野正比呂議員が代表質問に立ちました。42項目の市政課題を取り上げ、市長・当局の考え方を質すとともに、会派内の議論を踏まえた提案を行いました。

主な質問内容

磐田市議会インターネット中継を始めてみました。生中継の他、録画でいつでも見られます。



1 市の経営方針などについて

- Q 中期財政計画における平成24年度予算の位置づけと、市民への情報開示の考えは。
- A 平成24年度予算は、後期基本計画に基づく実施計画とその裏付けとなる中期財政計画の出発点であり、策定中の後期基本計画との整合を図り編成する。また、市民に分かり易い内容で公表できるよう努めたい。
- Q 男女共同参画の推進として人材育成や登用の考え方は。
- A 登用の基準を明確にする手段のひとつとして、昇格試験制度の導入を検討している。

2 安心・安全の確保について

- Q 緊急時の指示命令系統強化の考えは。
- A H24年度から防災センターに危機管理室(2/1前倒し設置)を置く体制で強化を進める。
- Q 非常時における情報発信手段の確保の考え方は。
- A エリアメール加入・ホーンアレイスピーカー・防災ラジオの導入を検討中。またK-Mix、FmHaroiと非常災害放送に関する協定を締結している。



ホーンアレイスピーカー

3 文化教育・福祉について

- Q 文化行政を推進する組織のあり方は。
- A 文化会館等運営委員会・文化振興会・文化協会がそれぞれの役割を担っているが、分かりにくいという声もあり、より連携が図れるよう努力する。
- Q 学校給食におけるアレルギー対策の推進は。
- A 現状の設備で、一部食材除去などの対応が可能と判断した学校から試行・実施していく。



4 社会資本や基盤の整備について

- Q 地域の産業振興を踏まえた工事発注の考えは。
- A 今後も市内事業者を優先した入札を行う。また小規模修繕参加登録制度を活用し、小規模事業者の受注機会も拡大する。
- Q 検討中のJR新駅を含めたJR3駅構想の考え方は。
- A 新駅を含めたJR3駅を都市の拠点、生活交流の拠点と位置付け活用し、市の発展につなげたい。また今後は、意識して市民に広報していきたい。

会派「新磐田」メンバー (アウエオ順)



加藤文重



川崎和子



玉田文江



寺田辰藏



松野正比呂



八木啓仁

市の動き Pick up

子ども医療費助成拡大が提案される

子どもの医療費を助成することにより、疾病の早期発見や、早期治療を促進し、疾病の慢性化の予防と保護者の経済的負担の軽減を図ることを主とした制度です。平成24年10月より、制度変更を予定しています。今回の制度変更の内容は

【補償】 個人負担1回500円を中学卒業まで拡大(上限は4回/月まで)

小中一貫教育について 磐田第一中、豊岡中で試行予定

市教育委員会は、これまで約3年にわたって検討してきた小中一貫教育について、磐田第一中とその学区内の磐田西小・磐田中部小、豊岡中学区の豊岡北小・東小・南小の2学区で今春から具体的な実施内容の協議を行い、試験実施をしていく予定。その実施状況を見極めたいうえで、市内全域展開の是非を最終判断することとしています。

行動する「新磐田」 事業の現場に向き、実態把握に努めています

視察研修 1/23~25
視察研修に行ってきました。

福山市〈広島県〉 テーマ「救急救命センターと緩和ケア病棟」 〈救命救急センター〉

広島県東部で初めての3次医療機関として、高度な救急医療を24時間体制で行っています。対象病床数24床、専任医師 9名、専任看護師 65名。専任医師と当直医との連携、ヘリポート開設、救急隊との連携により山間部等への対応も行っています。課題は、医師の確保と専任医師の負担の軽減です。

〈緩和ケア病棟〉

- がん相談支援センターの設置
がんに関わる様々な質問やご相談にお答えしています。また、がん患者サロン「おしゃべり会」として患者や家族が同じ立場で語り合う場も開催しています。緩和ケア病棟には、専用に16床、専任医があり、電話相談や外来を通してケアチームが、初期から対応。地域緩和ネットワークと連携し、緩和病棟内での完結ではなく、地域主導・完結型を目指しています。



松山市〈愛媛県〉 テーマ「サンシャインプロジェクト」

溫暖な瀬戸内気候、日照時間の長い地域特性を生かした「ソーラーが広がるまちMatsuyama」を目指し太陽光発電普及に積極的に取り組んでいます。

- 補助金:中核市トップの支援制度
1kWあたり6万円(上限18万円)、10kW以上一律100万円。補助申込は、H21年度、2倍払い取り制度開始により急速に伸び、住宅では月120~140件、事業所でもH22年には249社。コスト回収年数は約12年という試算をしています。また、中長期の太陽光発電導入目標値を設定した促進計画を作成しています。



- グリーン電力の証書活用モデル事業
自治体として初めてグリーン電力証書発行事業所となり、その売買収入を太陽光発電の導入支援に充てています。(松山城天守閣のライトアップ等)
- 普及啓発 ソーラーラジコンカー耐久レース:全国30チーム参加など
- 環境ビジネス創出支援事業・環境関連産業支援など
- 環境教育 地域の企業と連携した小学校への出前教室など

玉野市〈岡山県〉 テーマ「お宝たまの観光コンシェルジュ」

玉野市は磐田市にゆかりの鳥人幸吉の生誕の地。宇野港では芸術祭が開催されるなど四季折々の各種イベントが目白押しです。玉野市観光協会では、玉野市に関する観光情報サイトとしてインターネットで発信しています。年間平均アクセス数は15万。主なユーザー層は近郊の市や大阪、東京からもあります。

テーマ〈子育て支援〉

- 就学前児童数が年々減少し、働く女性が増加する中、幼稚園ニーズが減少し保育園ニーズが増加している。但し待機児童はここ数年の調査では出ていません。
- 現在は、国の「子ども子育て新システム」の同行を注視しながら、幼保一元化等について教育委員会と子

育で支援課で、事務担当レベルで会議を随時開催しています。

- 玉野市出身の漫画家、いしいひさいち氏の作品に登場する小学生ののちゃんが住む「たまの市」は「玉野市」がモデルになっています。のちゃんを広報宣伝に使用し、元気で明るいまちづくりに努力しています。

市の組織変更

危機管理室を新設しました。

安心安全最優先の対策として「危機管理室」が新設されました。予定を早めて2月1日から前倒し設置です。浜岡原発から30km圏内(UPZ=緊急防護措置準備区域)に磐田市が入ることを踏まえ、原子力防災対策や庁内初動体制の早期確立などの防災、危機管理を強化するための対策です。市が重要施策として取り組んでいることが分かります。



子ども窓口が一本化されます。

新年度から子どもに関する窓口が一つになります。これまで、幼稚園に関しては教育委員会、保育園は子育て支援課と分かれていましたが、一ヶ所での対応ができるようになります。児童虐待、発達障害などの対応も、より連携がスムーズになり、期待できる大きな変化です。場所は、1(アイ)プラザ3階。

県議会議員との懇談と県への要望

住みよい磐田市を目指すには、県との連携も重要です。磐田市選出の県議3人と防災や福祉、インフラ整備関係など、それぞれ具体的に有意義な話し合いを行いました。



県への要望
市内の現地確認を元に、県議を通して県への要望書を提出しました。防災や海岸保全、交通安全、乳幼児医療費、里親制度、県文化事業の磐田市誘致等々を要望しました。

浜岡原発視察

3.11大震災の発生後、政府によって浜岡原子力発電所に停止勧告が出され、以後全国の原発も再稼働が困難な状況になっています。また、これからのエネルギーのあり方や被災地のガレキ処理等も全国的課題となっています。

原発30km圏内にある磐田市を再認識すると共に、地震や津波そして各種エネルギー政策について、より知識を深めていくことを共通認識として、改めて浜岡原子力発電所の見学と研修を行いました。これからも幅広い見識が持てるよう、また市民の安全安心に寄与できるよう努力していきます。



お知らせ 平成24年2月議会予定

- * 全ての会議を傍聴できます。傍聴される方は市役所5階の議会事務局においで下さい。
- * インターネット中継も是非ご利用下さい。
- * 日程のご確認は、市役所本庁舎南北通路壁面の「議会情報コーナー」か、議会事務局(0538-37-4822)をお願いします。

会期	2月16日(木)~3月23日(金)	37日間
2/16	本会議(先議議案の説明・質疑) 予算委員会(先議議案審査)	
17	本会議(当初予算・一般議案の説明)	
20	予算委員会(審査予備日)	
24	本会議(先議議案の採決)、委員会報告、採決	
27	本会議(一般質問)	
28	本会議(一般質問)	
29	本会議(一般質問)	
1	本会議(一般質問予備日)	
2	本会議(予算代表質疑)	
5	本会議(一般議案一般質疑) 予算委員会(分科会設置・分担)	
6	分科会・常任委員会	
7	分科会・常任委員会	
8	分科会・常任委員会(審査予備日)	
15	予算委員会(委員会採決)	
23	本会議(議案の採決等)	